

所報

たまじむ

創刊 平成7年7月1日
発行 令和2年11月2日

通算

第78号

東京都多摩教育事務所
東京都立川市錦町4-6-3
Tel 042-524-7222
Fax 042-528-0985

誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学び

東京都多摩教育事務所 管理課長
渋谷 澤 明



「ニュー・シネマ・パラダイス」という映画を御存じでしょうか。少年と高齢の映画技師との交流を描いた心温まる作品です。ある日、少年の学校に高齢の映画技師たちが算数のテストを受けにやってきます。彼らはいまだに及第点を取れていなかったのです。とても微笑ましいシーンなのですが、一昔前の教育はこうなのだと驚きもしました。

令和元年12月、文部科学省が打ち出した「GIGAスクール構想」の目的は「誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学び」の実現です。本年度末には、一人一台の端末が整備される見通しとなりましたが、その後の展開について模索が続いていることと思います。これから、家庭での端末を使える環境が整備され、ビデオ通話サービスや動画配信サービスなどを活用すれば、子供は、学校以外でも個々の計画に従い学びを進めることができます。

今後の学校は、全ての授業において映像教材を用い、家庭でいわゆる授業を予習の形で受講し、学習内容に関わる意見交換や演習を学校の授業で行うなどのハイブリッド型の形態になっていくかもしれません。

ある教育長が「新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休業期間に、不登校傾向の子供が学校に通うようになった。我々大人は、学校は学習の場だと言ってきたけれど、子供たちにとっては、まず居場所なんだね。認識を改めなくては。」と語ってくださいました。学校は、家庭にないものを学べる場です。子供たちは学校に来ることで、教師や友人とふれ合い、本や楽器、絵画など、何かに親しむことができます。そこで触発を受けることこそ大事ななのでしょう。

最後に、映画の高齢の映画技師は、少年に愛情を注ぎ、彼の人生により影響を与え、その時代を立派に生きました。今後も多摩教育事務所は、現在の学校をめぐる状況や課題を皆さんと一緒に解決し、目指すべき次世代の学校・教育現場の実現を図るために必要な情報提供や指導・支援等将继续していきます。

目 次

【巻頭言】誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学び	1
【特集①】各教科等の資質・能力を育むICTを活用した授業づくり	2～3
【特集②】「社会に開かれた教育課程」の実現を目指した全体像	4～5
【特集③】「新たな価値を生み出す豊かな創造性」の育成	6～7
【情 報】新型コロナウイルス感染症に関連する指導	8

たまじむ

検索

本号については、東京都多摩教育事務所のホームページからダウンロードできます。

<https://www.tamajimu.metro.tokyo.lg.jp/>



各教科等の資質・能力を育む ICT を活用した授業づくり



この特集全体の
詳しい内容はこちら

新学習指導要領に基づき、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するため、子供や学校等の実態に応じ、各教科等の特質や学習過程を踏まえて、教材・教具や学習ツールの一つとして ICT を積極的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげることが重要です。本特集では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「各教科等の資質・能力を育む ICT を活用した授業づくり」について、学習場面に応じた事例を紹介します。



各教科等で育成を目指す 資質・能力の三つの柱

生きて働く
知識及び技能の習得

未知の状況に
思考力、判断力、
も対応できる
表現力等の育成

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力、人間性等の涵養



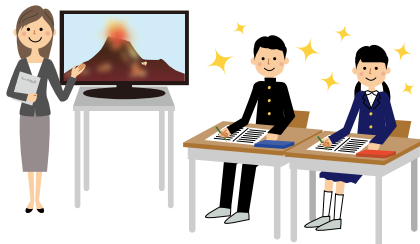
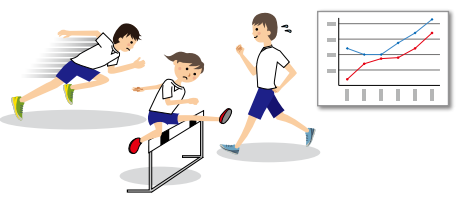
学習のツールの一つとして ICTの積極的な活用

- ✓ 資質・能力の育成により効果的な場合の活用
- ✓ 限られた学習時間を効率的に運用する観点からの活用

主体的・対話的で深い学び の実現に向けた授業改善

- ✓ 子供や学校等の実態に応じた学習場面
- ✓ 各教科等の特質や学習過程を踏まえた学習場面

ICT を活用した授業づくり

	主体的な学びにつなげる	対話的な学びにつなげる	深い学びにつなげる
学習 場面 例	国語 小学校 第6学年「話すこと・聞くこと」  学習を振り返る場面 ビデオカメラ機能等での録画・再生	社会 小学校 第3学年「身近な地域や市の様子」  収集した情報を基に話し合う場面 ビデオカメラ機能等での録画・再生	生活 小学校 第2学年「生活や出来事の伝え合い」  表現する・行為する場面 タブレット型端末での動画作成・配信
	理科 中学校 第1学年「大地の成り立ちと変化」  問題を見だし、学習の見通しをもつ場面 大型拡大装置での拡大提示	数学 中学校 第1学年「データの分布の傾向」  情報を共有して話し合う場面 共同作業ツールでのデータ整理	保健体育 中学校 第3学年「陸上競技」  思考を深め、よりよく解決する場面 タブレット型端末でのデータの管理・比較

※「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の三つの視点は、子供の学びの過程としては一体として実現され、それぞれ相互に影響し合うものである。授業改善の視点としてはそれぞれ固有の視点であることに留意が必要である。

- 参考文献
- ① 各教科等の指導における ICT の効果的な活用に関する参考資料（令和2年9月 文部科学省）
 - ② 教育の情報化に関する手引き（追補版）（令和2年6月 文部科学省）
 - ③ 小学校及び中学校学習指導要領解説総則編（平成29年7月 文部科学省）
 - ④ 「学びのイノベーション事業」実証研究報告書（平成26年3月 文部科学省）
 - ⑤ 初等教育資料（令和2年8月号 文部科学省）
 - ⑥ 初等教育資料（令和元年12月号 文部科学省）
 - ⑦ 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）（平成28年12月21日 中央教育審議会）

「社会に開かれた教育課程」の実現を目指した全体像



この特集全体の
詳しい内容はこちら

これまでも学校は、子供たちの育成環境の総合的な充実に向け、学校と家庭、更に地域の人々との連携を図り、地
理念を学校と社会とが共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む「社会に

域に開かれた学校づくりをしてきました。新学習指導要領では、「よりよい学校教育がよりよい社会を創る」という
開かれた教育課程」の実現が重視されています。

「社会に開かれた教育課程」の三つの要素



共有

よりよい学校教育を通じて
よりよい社会を創るという目標を
学校と社会とが共有します。

明確化

これからの社会
子供たちに**必要**
何かを明
それを学校教育
を創り出していく
な資質・能力が
らかにし、
で育成します。

連携・協働

地域と連携・協働しながら
目指すべき学校教育を実現します。



岩手県大槌町

- ・ 東日本大震災で津波による大きな被害
- ・ 災害から立ち上がり、ふるさとの将来を担う人材の育成を学校教育

において目指すため、保護者や地域住民等が学校の運営に参画するコミュニティ・スクールを導入

事例

学校運営協議会で、
教員と地域住民が熟議

次代を担う子供たちを、
学校と地域が協働して
育てていくという目標を**共有**



子供たちが

「**社会の変化**
「将来への夢
向けて努
「**郷土への誇り**」をもつ
に柔軟に対応する力」
や希望を描き実現へと
力する力」を育成



「地域学校協働本部コーディネーター
(地域学校協働活動推進員)」が発掘した
地域人材（商店経営者、漁師等）が講師

「**地域産業に関する学習**」を実施

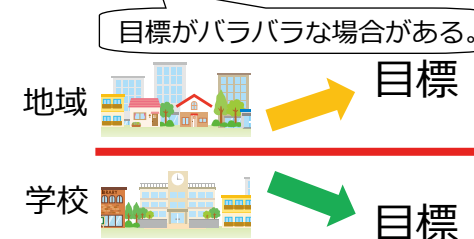


地域社会とのつながりを重視した学校の特徴づくり

地域社会との連携・協働

- 新学習指導要領には、
 - ・ 前文…「**社会に開かれた教育課程**」の明記
 - ・ 総則…**地域との連携・協働に関する規定の掲載**

地域に開かれた学校



社会に開かれた教育課程



参考文献 ① 小学校及び中学校学習指導要領（平成29年3月 文部科学省） ② 小学校及び中学校学習指導要領解説総則編（平
成29年7月 文部科学省） ③ 新しい学習指導要領の考え方—中央教育審議会における議論から改訂そして実施へ—（文部科学省）
④ 初等教育資料（平成31年3月号 文部科学省） ⑤ 社会に開かれた教育課程について詳しくはこちら
から（文部科学省ホームページ https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1383986.htm）
⑥ 「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ ～コミュニティ・スクールを核とした学校と地域の連携・協働～（NITS 独立行政法人教職員支援機構）

「新たな価値を生み出す豊かな創造性」の育成



この特集全体の
詳しい内容はこちら

変化の激しい社会の中でも、感性を豊かに働かせながら、よりよい人生や社会の在り方を考え、試行錯誤しながら問題を発見・解決し、新たな価値を創造していくとともに、新たな問題の発見・解決につなげていくことが求められる。本特集では、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力

ながら問題を発見・解決し、新たな価値を創造していくとともに、新たな問題の発見・解決につなげていくことが求められる。本特集では、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力

「新たな価値を生み出す豊かな創造性」とは

これからの時代と求められる力

予測困難な時代

- ◆ 人工知能（AI）等に象徴されるように、社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難となっています。

求められる力

- ◆ 予測困難な時代においては、子供たちが単に社会の変化に受け身で対応するのではなく、変化を前向きに受け止め、自分たちが考える、より豊かな社会の実現に向けて主体的に動いていくことが求められます。



出典：内閣府ホームページ一部編集

新たな価値の創造

必ずしも既存の社会的な枠組みや価値観にとらわれることなく、様々な変化を柔軟に受け止め、感性を豊かに働かせながら、どのような未来をつくっていくのか、どのように社会をよりよいものにしていくのかを考え、**新たな価値を積極的に創り出していくことが重要**

「創造性」の涵養

- ◆ 学習指導要領等に基づき、各教科等の特質に応じた**創造性**に関する教育を行っていくことが大切です。
- ◆ **既存の多様な知識や考え方を組み合わせることにより、柔軟な発想が生み出される**ような場合には、「**創造性**」の涵養につながっているといえることができます。

新たな価値を生み出す人材の育成

既存の多様な知識や考え方を組み合わせ、「**新たな価値を生み出す豊かな創造性**」を育成するための取組例

算数

小学校第3学年 余りのあるわり算

余りのないわり算で学習した内容を基に考えている。

わる数とわられる数に着目し、あまりの数との関係について**ブロック**を操作して考える。

ノートに自分の考えを図や式などで表す。

記述した自分の考えを基に話し合う。

音楽

小学校第5学年 和音に合わせて旋律をつくろう

既習曲を参考に考えている。

既習曲（「茶色の小びん」など）を参考に、曲をどのように構成するか考える。

実際に音を出して試しながら、どのような旋律をつくりたいのかを大まかに考える。

旋律がある程度出来上がったなら、友達と聴き合ったり、教師に聴かせたりする。

理科

中学校第1学年 光と音

様々な現象を観察する過程で問題を見いだしている。

凸レンズによる様々な現象を観察する過程で、光の進み方に着目し、**問題を見いだす**。

光源の位置を変えたときの凸レンズによる像のでき方を調べる。

物体と凸レンズの距離による像の大きさや向きの変化を理解する。

美術

中学校第2学年 視点を感じて～写そう 私の〇〇な情景～

感じ取ったことや考えたことを基に構想を練っている。

身近な風景や場面から表現したい**主題を生み出し、創造的な構成を考え構想を練る**。

主題を基に、視点や構図の取り方、アングル、広がり方や遠近の表し方を工夫して撮影する。

互いの完成した作品を鑑賞し、批評し合う。

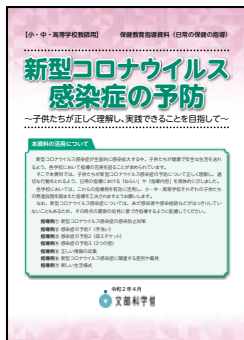
参考文献

- ① 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現～（中間版）（令和2年10月7日 中央教育審議会初等中等教育分科会）
- ② Society5.0に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～（平成30年6月5日 Society5.0に向けた人材育成に係る大臣懇談会）
- ③ 初等教育資料（平成30年10月号 文部科学省）
- ④ 小学校及び中学校学習指導要領解説（平成29年7月 文部科学省）
- ⑤ 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策について（答申）（平成28年12月21日 中央教育審議会）
- ⑥ 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（令和2年3月 文部科学省国立教育政策研究所）
- ⑦ 東京都教育施策大綱（平成29年1月 東京都教育委員会）
- ⑧ 令和2年度 主要事務事業の概要（令和2年7月1日 東京都教育委員会）

新型コロナウイルス感染症に関連する指導

新型コロナウイルス感染症の予防について正しく理解するとともに、いじめを防止し、医療従事者等への感謝の念を育むための指導について、指導資料やその概要を紹介します。

新型コロナウイルス感染症の予防 ～子供たちが理解し、実践できることを目指して～



新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大する中、子供たちが健康で安全な生活を送れるよう、各学校において指導の充実を図ることが求められています。

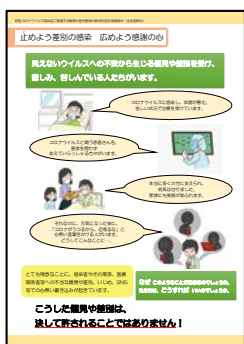
新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見

- 新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見について考え、適切な行動をとることができるようにする。



出典：新型コロナウイルス感染症の予防 ～子供たちが理解し、実践できることを目指して～（令和2年4月 文部科学省）
https://www.mext.go.jp/content/2020501-mext_kenshoku-000006975_5.pdf

新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別意識の解消を図る指導資料



新型コロナウイルス感染症が全国に感染拡大する中、感染者、濃厚接触者、医療従事者、社会機能の維持にあたる方等とその家族に対して、**偏見や差別につながるような行為**が起きています。

「止めよう差別の感染 広めよう感謝の心」

- 新型コロナウイルス感染症感染者等に対して、社会には偏見や差別意識があり、それがなぜ起こるのかを考え、絶対に許されないことを理解する。
- 感染者の回復や私たちの生活のために、必死で働いている人がいることを知り、その方々へのメッセージを考える。



出典：新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別意識の解消を図る指導資料（令和2年6月 東京都教職員研修センター研修部教育開発課）

新型コロナウイルス感染症に関連するいじめ等について考える漫画形式教材



新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者、医療や社会生活を維持する業務の従事者等とその家族に対する**誹謗中傷に関する報道**がなされています。

漫画形式教材「まるでウイルスみたいに...。」

- 新型コロナウイルス感染症に関連するいじめ等を受けたときや、見たり聞いたりしたときなどに、どのように対処すればよいかを考えるとともに、相談することの大切さについて、理解できるようにする。

※ 漫画形式教材「相手の今を思うと...。」が11月上旬に追加掲載予定



掲載場所：ウェブサイト「考えよう！いじめ・SNS@Tokyo」（令和2年11月更新 東京都教育委員会）

次号
予告

「たまじむ」通算第79号
令和3年2月26日発行予定

- 特集① ICTを活用した授業づくり（オンラインを活用した取組）
 - 特集② 各教科等における読解力の育成
 - 特集③ 各教科等における情報活用能力の育成
- ※ 内容については変更する場合がありますので、御了承ください。